

入学校 東京大学(文科三類)



「雪耐梅花麗」

家から遠く離れた寮でやっていくのかと、心配な県外の生徒は多いだろう。僕もそうだった。家族と別れた入寮の夜、不安と心細さで眠れなかった。しかしそれは杞憂だった。まず、現後の食事制御でなかったスマート就寝時間を管理してもらい、規則正しい生活中で勉強に集中できた。友達もできた。部屋の洒落の競い合い、愉快な寮父寮母、風呂場での悪戯、皆でこっそり食べた夜食、自分達や日本の将来についての議論、熊本城で見た初日の出。塾と寮の往復の日々だったが、青春だった。今は東京で一人暮らしをしている。帰るといつでも友達がいた日々が懐かしい。「雪耐梅花麗」というが、友と耐えた雪の季節は、とても楽しいものだった。

入学校 東京大学(理科一類)



「すぐそばに仲間がいること」

寮で暮らす最大のメリットはモチベーションが高い時も低い時も常にすぐそばに仲間がいることです。互いに競争して成績を伸ばしたり、友達にアドバイスをもらったり苦手科目を克服したり、人の接觸機会が多いのでひとりで悩まずに勉強することができました。高校では同じ大学を目指して頑張る仲間がいたかった僕にとって、梁山泊寮はモチベーションを高めストレスをなくしてくれる環境でした。ご飯やお風呂も用意してもらえて生活リズムも整うので安心して勉強に専念できました。みなさんも浪人が苦しくなったと言えるような一年にしてほしいです。

入学校 京都大学(工)



「合格に不可欠だった寮生活」

壺溪塾での一年を思い返すと、寮生活は自分にとって京大合格に不可欠なものであったと感じます。移動、食事、入浴などの時間を削り、勉強時間を探さるのを、寮監などスタッフの方々がサポートしてくださいました。さらに、大学合格を目指す仲間が常に近くにいます。仲間と切磋琢磨したり、談笑したりの時間はとても楽しく、かけがえのないものでした。よく「浪人生活を乗り越えた」などの表現をすることがあります。自分はそのように感じています。むしろこの壺溪塾や梁山泊寮での生活がまだ続いていると思えるほどに、楽しく充実した一年でした。寮生活は皆さんの大きな手助けとなるはずです。後輩の皆さん、頑張れ!

入学校 九州大学(経済)



「努力を成長の糧に」

梁山泊寮は塾からとても近く食事も出してもらえるのでやろと思えば一回に十数時間の勉強ができる環境があります。この時間全て全力で勉強して集中力が切れてしまふ続けるのも効率が悪いので上手く気分転換もする良いと思います。また梁山泊寮では食事、お風呂、自習時間など多くの時間を他の寮生と共有するので、おのずと友人もできます。高校の友人は大学生になって精神的にもきつい浪人期では寮でできた寮友は心の支えになります。できた友人と甘え切磋琢磨してください。寮生だから成績が伸びるわけではありません。寮で努力を継続できなければ時間は浪費されます。頑張ってください。浪人期の努力は必ず成長の糧になります。

入学校 熊本大学(医-医)



「理想的な環境」

壺溪塾の寮は、自分と向き合いで、勉強に真剣に取り組みたいと考える人にとって理想的な環境だと思います。寮では、毎晩3時間の自習時間が設けられており、集中して学習に取り組むことができました。同じ目標を持つ仲間と励まし合いながら一緒に勉強することで、前向きに努力を続けることができます。私は一人で勉強するときげてしまうことが多かったのですが、寮の規則正しい環境のおかげでしっかりと取り組むことができました。また、寮で作ってくれる食事は栄養バランスが良く、とても美味しいだったので、体調を崩すことなく健康的に浪人生活を送ることができました。これから努力を重ねる皆さんを、心から応援しています。

入学校 宮崎大学(医-医)



「勉強以外に悩まなくて良い」

梁山泊寮では毎日、夜に最低3時間は自習を設けています。そのため、否が応にも勉強する習慣を身につけることができます。寮生の中には、皆よりも早く自習に来て勉強している人がいます。寮のスタンスとしては強制的に自習をさせたいというより、このような生徒を規範として皆が自動的に取り組むことを理想とします。生活面に関しても寮監の徹底したサポートにより規則正しい生活を送ることができます。自分の立ち位置を冷静に分析してやるべきことだけに専念できる環境は整っています。本当に自分が第一志願に受けたいと考え、一年間でその学力を習得するために努力する覚悟があるなら、梁山泊寮で一年だけ発起してみませんか。

入学校 大阪大学(外国語)



「仲間は大きな支え」

まず私が寮に入ったのは現役時代に生活リズムが整っておらず、それが受験に失敗した原因の一つだと考えたからです。はじめの一ヶ月ほどは緊張していましたが、時間がたつにつれ会話を増えて、精神面でも大きな戻いをしてないといけない浪人という期間で一緒に頑張る仲間がいることは大きな支えになりました。勉強に疲れたときは寮の友達と散歩に行くこともあります。また本番前では理屈的な判定がでている人、そうでない人と状況は様々ですが寮生同士で話し合ったり情報交換することで不安がはれたり、納得のいく進路が見つかったりもします。人生でこのような環境で生活することはなかなかないことだと思います。ぜひ入寮を考えてみてください。

入学校 熊本大学(医-医)



「集中できる環境」

寮で学んでよかったですことは大きく3つあります。1つ目は生活習慣が崩れないことです。無理をするよりも、生活習慣を整えて勉強した方が、努力が結果に結びつくと思います。2つ目は一緒に頑張る友人が近くにいることです。さつまい時期が来ても互いに励まし合うことで乗り切れるし、勉強面でも多くのことを学べます。3つ目は自習時間が確保されていることです。毎日自習があるので、勉強のペースが大きくなれることは無いと思います。最後に、寮のスタッフの方々がサポートしてくださるので、勉強に集中することができます。寮ならではの苦労もありましたが、勉強に集中できる環境が整っていたので、寮に入れて良かったと思います。

入学校 熊本大学(情報融合学環)



「寮生しか得られないもの」

一年間の浪人生活を京町女子寮で過ごせて良かったです。寮には毎日時間夜自習の時間が取ってあり、塾から帰った後や休日に勉強を全くしないという日はありませんでした。加えて、身近に一緒に頑張っている友達がいたことも心強かったです。寮には志望校合格を目指す仲間が必ず隣にいるので、お互いを励まし合ったり、不安を相談したりすることができます。勉強のモチベーションを保つことができました。入寮するか悩んでいる人は入寮することをお勧めします。寮生しか得られないものが必ずあります。これから一年間辛いこともあると思いますが、寮という環境を精一杯利用して来年合格を勝ち取ってください。応援しています。

入学校 久留米大学(医-医)



「メリハリが大切」

寮で勉強できてよかった点は主に3つあります。1つ目は自習の環境が整っていることです。必修自習時間以外にも、空き時間や休日に自分のタイミングで自習室を使うことができ、寮母さんからの美味しい差し入れも、もらったりします。2つ目は、意識の高い仲間と共に浪人生活を送ることができます。一緒に勉強するだけでなく、悩みを相談したりするなど、コミュニケーションを取ることもできます。休み時間も相談したりしたりすることができます。3つ目は、寮監さん、寮母さんが親身になって相談に乗ってくださることです。困った時は、些細なことでも話すと、気持ちが楽になりますよ!!

2025年度 入寮のご案内



梁山泊寮(男子寮)

〒860-0077 熊本市中央区内坪井町5-30
TEL.096-342-5014

京町女子寮

〒860-0078 熊本市中央区京町1丁目10-8
TEL.096-351-1920



大学予備校

壺溪塾

入寮についてのお問い合わせ・お申し込みは
〒860-0077
熊本市中央区内坪井町5-10
壺溪塾坪井本校 入寮申込係
TEL.096-352-1442



昭和5年の開校以来、壺溪塾は「単に合格するだけではなく、高い知性と美しい人間像の完成をめざす」という

教育理念を掲げ、塾生指導を行ってまいりました。

直営寮の寮生は、日々の生活の中でこの教育理念を体現することを目標とします。勉学に集中した寮生活を送るだけでなく、他者への思い遣りを大切にし、心を磨き、人間性を高めていくことをも目指します。

親元を離れ受験生として意欲に燃えている皆さんに、同じ志を持つ仲間と共に、一年間安心して勉学に打ち込むよう、直営寮は全力でサポートしていきます。



梁山泊寮

(男子寮)



梁山泊寮は昭和5年に建設された旧校舎の跡地に建てられています。道路を挟んだ向かい側には横井小楠の生誕地、その先には夏目漱石の旧居などがある閑静な住宅地で、落ち着いて勉強ができる環境です。スタッフは24時間体制で寮生を支援します。



梁山泊寮ってどういう意味?

梁山泊とは『水滸伝』の舞台となった中国山東省にあった沼沢の名が転じ、「優れた人物、有志が集まる所」の意で使われる。大志を抱く壺渓塾寮生が集う場所という意味が込められている。

寮監長からのメッセージ



これから始まる壺渓塾の寮生活、親元を離れての生活で不安や悩みもあると思います。直営寮では、「礼儀」「コミュニケーション」「協調性」を大切に、寮生活を完全サポートしております。私たち寮監は、寮生が勉学の面でも人間的にも全寮生のお手本となってほしいという思いで温かく厳しく接していく。皆さんと一緒に絆を深め合いながら、最終目標である大学へ送り出すお手伝いを寮監一丸となって行っています。皆さんの入寮を心からお待ちしております。

壺渓塾 直営寮寮監 外口 一仁 スタッフ一同

入寮資格

- 壺渓塾大学受験科に在籍し、一年間継続して勉学に励む者。
- 心身ともに健康で規則正しい寮生活を送れる者。
- 寮の規則を守り、共同生活が送れる者。

募集定員

男子 / 48名 女子 / 22名

申込方法

所定の予約申込書に記入し、大学受験科入塾願書に添えて、壺渓塾坪井校窓口へ持参、または郵送してください。寮のみの申込は受け付けません(注1)。FAX・メールでの受付は行っておりません。予約申込書を受理した時点より選考日まで寮室は確保されます。満室となった場合は、希望によりキャンセル待ちとして受け付けます。

安定した**生活リズム**
充実した学習環境により
学習習慣を定着



鉄骨4階建の建物は、1階が食堂兼自習室と浴場、2階から4階までが個室となっています。各部屋にはベッド、机・椅子、ラック、エアコン備付。個室階には共同のトイレ、洗面所、洗濯機、冷蔵庫があります。



玄関前の花壇は
ほっとするスポット

壺渓塾直営寮5つのポイント



食事も徹底管理
温かい食事の提供とおもてなし



時間と味方につける
無理・無駄のない
タイムスケジュール



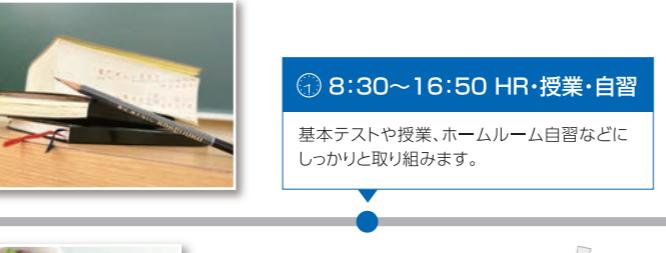
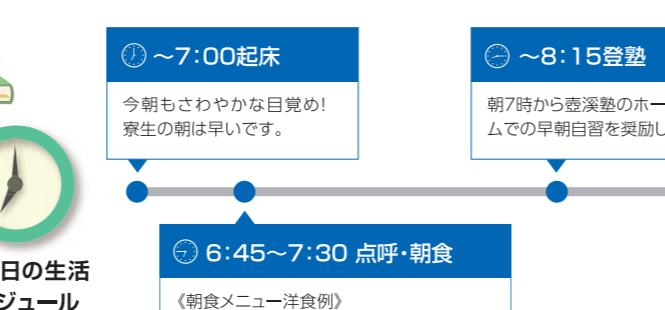
塾と寮の
ネットワーク
様々な講習会やイベント

- ✓ 塾長 ⇌ 寮監長 ⇌ 寮監ホットライン
- ✓ 寮監は経験値の高い、職務経験者!
- (梁山泊寮)8人の寮監が24時間2交代で勤務
- (京町女子寮)寮監夫婦住込み勤務



豊富な貸出用品(すべて無料)

- 掃除機・アイロン・ポット・布団乾燥機・布団掃除機・LEDライトなど
- ※洗濯機利用までも無料!



8:30~16:50 HR・授業・自習

17:00~19:50 (~18:20 帰寮(門限))
夕食・入浴・洗濯等



面接を経て厳正な選考の上、入寮許可となります。面接は事前予約制です(注2)。特待生試験日に合わせて実施しますので、募集要項P6「試験日程」を参照し、希望の選考日を選んでください(注3)。入寮希望者多数の場合、県外および遠隔地出身者を優先することがあります(注4)。

入寮許可者には、塾生寮規則集・その他必要書類を即日郵送します。定められた日時(選考日より概ね4日以内)までに、右記入寮手続時納入額を指定口座へ振り込んでください。所定の日までにお振り込みがない時は辞退とみなし、次の方へ部屋を案内します。

●2025年4月1日~2026年2月末日
入寮日は、寮監との打合せにより決定します。

京町女子寮



京町女子寮は、壺渓塾坪井本校より徒歩7分の閑静な住宅地にあります。熊本城や県立美術館よりほど近く、天気の良い日曜日などに、二の丸公園は絶好の散歩コース。住み込みの寮監・寮母が、いつもあたたかく寮生をサポートします。

3階建鉄筋コンクリート造、全室個室(洋7.5帖)で、ベッド、机、椅子、クローゼット、バス・トイレ、ミニキッチン、エアコン完備。1階には食堂兼自習室、共同の洗濯機があります。



入寮金:100,000円 施設管理費:198,000円
(男女共通)
《男子寮》月額寮費:79,000円 水道光熱費:6,500円
(朝夕食事代込み・日祝もあり)
《女子寮》月額寮費:75,000円 水道光熱費:4,500円
(朝夕食事代込み・日祝はなし)

(入寮手続時納入額)

納入方法	男子寮	女子寮
一括	1,237,000円	1,171,000円
月払	383,500円	377,500円

*月払いの場合、月額寮費および水道光熱費は、前月末までに指定口座へ各自振り込みとなります。